

これまでの森ビルグループの安全に関する取組み

2010年度

事故対策本部の設置 2005/10/20
解散

安全対策本部の設置 2006/3月末
安全会議へ移行

事故防止のための
体制等について
…管理部の組織変更
事故速報の改善(ビル速報)
危機管理体制の強化
コンプライアンス

安全会議の継続 ……月1回実施
安全会議(週例)を週1回実施
今年度の実施内容は右記参照

ビル速報システムの活用 ……発生した事故やトラブルにおいて、対応進捗管理や
事故情報分析、改善策実施を的確かつスピーディに実施
重要事例について、
安全会議(週例)にてフォローを実施

ISO導入
コンプライアンス
内部監査・外部審査による改善の継続

社外事故事例の活用
5月 店舗内吹抜より無線機落下事故(東京)
10月 工事中クレーン転倒事故(東京)
マンション天窓から転落事故(兵庫)
解体中の工事外壁倒壊事故(岐阜)
2月 ジェットコースター
から転落事故(東京)

回転扉の撤去改修 2006年度
完了

事故機(動態保存)視察 4月
安全教育の一環として、事故機保存工場を視察(新卒・社外採用 計39名)
10月
(既存社員 計161名)

安全対策 4月 12月 1月
未稼働物件 緊急外壁調査・対策開始
11B耐震改修工事
六本木ヒルズESC監視用カメラ増設
戸尻挟まれ防止安全対策実施

サポートクルー活動
安全重点点検ポイントの点検を実施
GW 計6日、延べ182人参加
夏期 計15日、延べ380人参加
クリスマス 計6日、延べ167人の社員が参加
春期 計7日、延べ224人参加(予定)

安全委員会の設置
答申の受領
答申の諮問
2004/8/12
2004/10月

安全の日
行事

4項目に関する
取り組み

- ・基準整備
 - ・モニタリング
 - ・情報システム
 - ・研究教育
- 安全設計ガイドライン「2010年度版」発行
- 事故・ヒヤリハット・安全活動の情報共有を関連会社を含めた体制への構築 2010年-
- 「災害ポータル」運用 2008年- ビル速報WEB化 2008年-
- 危険学PJ参画 2007年- 2011/3/27 公開報告会
- キッズデザイン協議会参画 2007年- 第4回キッズデザイン賞受賞・フューチャーアクション部門：「ヒルズ街育プロジェクト」パンフレット
ユニバーサルセーフティ部門：「Passmooth」(軽量な新出入口システム)
- 他社安全研修施設視察 2010年 JAL安全啓発センター視察 41名参加

安全設計ガイドライン「2010年度版」発行
・2005年7月に発行した「安全設計ガイドライン」を改訂。
毎年発行している年報の運用物件トラブル(ハード面)から重要事項を盛り込み、
2010年度版として発行。

森ビルシティエアサービス
・都心部での災害負傷者・援助物資の緊急ヘリ搬送について麻布警察署と連携。

東京都「赤ちゃん・ふらっと」施設に認定
・六本木ヒルズ、表参道ヒルズ、ヴィーナスフォート

キッズデザイン協議会活動
・KIDS DESIGN Cafe 2010(キッズデザイン賞受賞作品の体験型展示)に協賛
・チャイルドロック研究PJ 参画
・共創力研究PJ 参画
・キッズデザインガイドライン部会 参画
・六本木ヒルズ探偵団の指摘を受け安全対策工事の継続実施

他社施設の安全対策視察
・視察及び意見交換を実施
7月 イオンモール川口キャラ(イオンモール株)
1月 霞ヶ関ビル(三井不動産株)

サポートクルー安全重点点検ポイント
・店舗等防火シャッターの閉鎖障害はないか?
・共用部コンセントのカバーが開いている箇所はないか?
・従業員出入口等のドアとお客様導線が交錯する箇所はないか?
・点字ブロックが抜けた箇所はないか?
・階段段鼻シールの剥れ箇所はないか?
・敷石・インターロッキング等の破損・ガタツキ箇所はないか?
・ブリッジ等から階下への落下の懸念がある箇所はないか?

社内安全点検
・パレットタウンT街区共用部
・六本木ヒルズ冬季イベント

森ビル都市企画(Active G、岐阜シティ・タワー43)
・施設安全維持管理に関する業務サポート契約締結

東北地方太平洋沖地震
・震災対策本部を設置し、震災対応を開始。

安全会議 2010年度の取り組み

2010年		
4月28日	第60回	1. 森アーツセンターにおける安全の取り組み(森アーツセンター事務局) 2. 「安全の日」実施報告(事務局) 3. 事例報告(事務局)
5月26日	第61回	1. ビル速報分析(2009年度)と安全への取り組み(管理事業部) 2. その他
6月30日	第62回	1. 内装部 安全への取り組み(建物環境開発事業部 内装部) 2. 事例報告(事務局) 3. その他(事務局)
7月28日	第63回	1. 安全設計ガイドライン(年報)報告(都市開発事業本部 第二設計部) 2. 2009年度安全対策改修工事 実績報告(建物環境開発事業部 設計部) 3. その他(事務局)
9月29日	第64回	1. スパにおける安全への取り組み(ヒルズクラブ) 2. 夏季サポートクルー活動の取り組み(事務局) 3. その他(事務局)
10月27日	第65回	1. 緊急時における広報対応について(広報室) 2. 社外事故事例報告(事務局) 3. その他(事務局)
11月24日	第66回	1. キッズデザイン協議会 活動報告-六本木ヒルズ探偵団報告-(安全会議) 2. その他(事務局)
2011年		
2月2日	第67回	1. タウンマネジメント事業室の安全の取り組み(タウンマネジメント事業室) 2. その他(事務局)
2月23日	第68回	1. 「パレットタウン ウェストモール」における取り組み(商業施設事業部 パレットタウン運営管理部) 2. 店舗内装工事における安全対策(商業施設事業部 業務推進部 店舗工事管理G) 3. 社外事故事例報告(事務局)
3月25日	第69回	1. メッセージ(安全会議議長:森 浩生) 2. 1年間の安全に関する取り組み報告(安全会議事務局長:中島 慶治)

2010年度 当社の安全への主な取り組み

安全設計ガイドライン「2010年度版」発行	・2005年7月に発行した「安全設計ガイドライン」を改訂。毎年発行している年報の運用物件 トラブル情報(ハード面)から重要事項を盛り込み、2010年度版として発行。
森ビルシティエアサービスの取り組み	・麻布警察署と連携し、都心部での災害負傷者・援助物資の搬送を想定した緊急ヘリ搬送訓練実施。
キッズデザイン賞	・第4回キッズデザイン賞 2部門で受賞 フューチャーアクション部門：「ヒルズ街育プロジェクト」パンフレット ユニバーサルセーフティ部門：「Passmooth(パスムース)」(軽量な新出入口システム)
「赤ちゃん・ふらっと」施設	・小さなお子様を連れての親が安心して外出を楽しめるよう、オムツ替えや授乳などが行える設備を 備えた「赤ちゃん・ふらっと」施設として、東京都より適合認定。 (六本木ヒルズ、表参道ヒルズ、ヴィーナスフォート)
未稼働物件 外壁剥落事故	・未稼働物件での外壁剥落事故を受け、全未稼働物件の緊急安全点検と対策を実施。継続中。
自動ドア 戸尻挟まれ事故	・自動ドアでの戸尻挟まれ事故を受け、商業エリアを重点に戸尻安全対策を実施。継続中。
六本木ヒルズ エスカレーター	・エスカレーターでの運行を監視し、事故発生時の状況・分析を行う為にITVカメラを増設。 ・サポートクルーによる重点点検ポイント確認結果を受け、吹き抜けエスカレーターの落下物対策 検討実施。
部門別 事故・ヒヤリハット・安全活動 確認体制構築	・事故・ヒヤリハット・安全活動を共有出来ないグループ会社・施設との全社的情報共有の体制 構築への取組
パレットタウンT街区共用部 安全点検	・パレットタウンT街区引受に先立ち、安全点検実施。
森ビル都市企画 業務サポート契約 (Active G、岐阜シティ・タワー43)	・これまでに蓄積してきた安全安心に対する業務品質を活用した施設安全維持管理に対する助言、 支援の業務サポート契約を締結。
ビル速報検証	・重要事項について必要に応じ、安全会議(週例)にて取り上げ、対策検討及び水平展開
安全研修について	・新入社員・既存社員向けに回転扉動態保存視察実施(4月、10月) ・サポートクルー活動時に重点点検ポイントの点検を実施。 ・JAL安全啓発センター視察 ・MORINETを活用し、安全に関する活動を社内外へ積極的に発信開始
東北地方太平洋沖地震	・震災対策本部を設置し、震災対応を開始。

主な取り組みについて

答申に対する
取組み

その他の
取組み

これまでの森ビルグループの安全に関する取組み

事故	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度				
2004/3/26										
事故対策本部の設置	…毎週水金に合同連絡会議を開催	連絡会議を 2005/9/30 2005/10/20 週1回に変更 刑事事件 判決 事故対策本部 解散								
安全対策本部の設置	…毎週水金に合同連絡会議を開催	連絡会議を 2006/3月末 週1回に変更 安全会議へ移行								
事故防止のための体制等について	…管理部の組織変更 事故速報の改善(ビル速報) 危機管理体制の強化 コンプライアンス	安全会議の創設 …月1回実施 安全会議役員会を週1回実施								
		ビル速報システムの活用 …発生した事故やトラブルにおいて、対応進捗管理や 事故情報分析、改善策実施を的確かつスピーディに実施				重要事例について、安全会議(週例)にてフォローを実施				
		ISO導入 コンプライアンス ISO9001認証取得(2006/3/17付) コンプライアンス委員会設置(2006/1/1) および全社員向け説明会実施	業務範囲拡大(11月～) 業務管理本部 アカデミービル事業部など			内部監査・外部審査による改善の継続				
回転扉の撤去改修	…撤去後に自動スライド扉へ改修。 改修にあたっては「安全に配慮した判断基準」を作成。	2005年10月 森タワー正面改修工事が完了 六本木ビルズにおける全ての工事が完了	六本木ファースビル(2基)を5月に工事が完了 使用に供する全てを改修完了。							
安全対策工事実施	…緊急安全点検後、安全対策工事実施。 対策事例：段差、手摺、進入防止、 建具、死角、暗がり	対策事例：六本木ビルズ「レジデンス」落下物対策、 おやこ休憩室新設、多目的WC改修	対策事例：住宅物件落下物検討 機械式駐車装置閉込め対策検討 アビリティーズ指摘対応検討	対策事例：住宅物件落下物対策工事実施 機械式駐車装置閉込め対策工事実施 アビリティーズ指摘対応工事実施	対策事例：ELV長周期対策 耐震改修 アスベスト対策	対策事例：耐震改修 トイレ扉挟み防止 ガス乾燥機順次交換(ガス式 電気式)				
サポートクルー活動	…六本木ビルズにおいて実施 (GW、夏休み、年末年始、春休みに実施)	表参道ビルズオープニング期間 サポートクルー実施(2006年2-3月)	春・夏・冬・年末年始等繁忙期に実施 計32日、延べ854人の社員が参加	春・夏・冬・年末年始等繁忙期に実施 計33日、延べ885人の社員が参加	GW・夏・年末年始・春等繁忙期に実施 計34日、延べ967人の社員が参加 夏季より高齢者疑似体験を実施	GW・夏季・秋季・クリスマス・春季に実施 計37日、延べ1,017人の社員が参加 ESC衣類巻込注意喚起・AED設置場所確認作業を実施				
安全委員会の設置 答申の諮問	答申の受領 2004/8/12	答申に対する各部署 の取り組み作成 2004/10月	安全の日 行事	安全講演会 (秋実施)	安全の日 行事	安全講演会 (秋実施)				
安全の日 行事	「チャイルド・ケア シンポジウム」自由参加	講演：「安全・安心とコンプライアンス」 明海大学 法科大学院 教授 コンプライアンス研究センター センター長 藤原 信昭氏	講演：「誰もが当たり前で暮らせる社会「街」にするために ～真のホスピタリティとは?～」 日本アビリティーズ 会長 伊東 弘泰氏、執行 呉氏	講演：「子どもの事故予防へのアプローチ」 緑園こどもクリニック 院長 山中 麗宏氏	講演：「ホスピタリティ面でのケアに関して」 グランドハイアット東京 チーフコンシェルジュ 三友自動車工業株式会社 取締役社長 益子 修氏	講演：「信頼回復に向けて」 三菱自動車工業株式会社 取締役社長 益子 修氏	講演：「安全と利便性を支えるコミュニケーション」 東京大学 先端科学技術研究センター 教授 福岡 智氏	講演：「JR東日本の安全の取り組み」 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長 小幡 方樹氏	講演：「ヒューマンエラーのメカニズム と事故防止」 立教大学 現代心理学部 心理学科 教授 芳賀 繁氏	講演：「ANAの安全への取り組み」 全日本空輸株式会社 代表取締役副社長執行役員 森本 光雄氏
4項目に関する 取り組み	・基準整備 ・モニタリング ・情報システム ・研究教育	安全設計ガイドライン作成 社内意見箱の設置、クレームDBの設置、親子向サービス拡充 ビル速報を活用した事故情報分析 ドアプロジェクトへの協力・参画	安全設計ガイドライン「年報」発行、保守契約基準の整備 サインの改良・増設、授乳室の増設、施設用品管理基準、 救護室利用記録の活用 ビル速報の活用(エレベーター、エスカレーター、機械式駐車装置) 社外事例を参考とした事故予防の実施、エレベーター救出訓練実施	安全設計ガイドライン「年報」発行 六本木ビルズ5周年工事への反映(ファミリー対応・多目的トイレ他) 「Z4現場情報管理データベース」運用 危険学PJ参画	安全設計ガイドライン「年報」発行 六本木ビルズ5周年工事への反映(ファミリー対応・多目的トイレ他) 「災害ポータル」運用 ビル速報WEB化 危険学PJ参画	安全設計ガイドライン「年報」発行 キッズトイレ新設 「災害ポータル」運用 ビル速報WEB化 危険学PJ参画				
答申に対する 取組み				キッズデザイン協議会参画	第2回キッズデザイン賞受賞 ・六本木ビルズの水の「ヒミツ」探検ツアー	第3回キッズデザイン賞受賞 ・子ども体験学習プログラムの展開 ・ハントタッチセンサー				
その他の 取組み	救護室(六本木ビルズ)看護体制の強化 六本木ビルズ防災センター内救護室の看護師対応を2004年4月 26日から変更 (土/日/祝日および繁忙期のみ待機 365日常駐) ビル速報立ち上げ後に水平展開を実施した具体的事例 ・エスカレーターの歩行禁止シールの貼付(歩行者の転倒防止対策) ・屋外エスカレーターの下り側を雨天時閉鎖(歩行者の転倒防止対策) ・ELV扉への挟まれ注意喚起シールの貼付 親子向けサービスの拡充 ユニバーサルガイド作成、親子休憩室・授乳室新設検討、多目的トイレ 見直しなど。 六本木ビルズにおいて親子向けサービスの拡充を計画	ハートフルサポーター研修の実施 ハンディキャップの疑似体験研修(視覚障害・車椅子・ 高齢者)を実施。 実施実績は社員約60名、協力会社約40名。 今後はTMスタッフカレッジ内にて実施。 アスベスト対策室 (2005年8月発足～2005年12月解散) 当社所有または運営管理する127棟について、アスベスト 調査実施。 調査結果をもとに対策方針を検討し、調査結果をテナント へ説明。随時改修工事を実施中。 表参道ビルズの安全対策 ・安全会議主導による竣工前安全点検、 竣工後安全点検レビューを実施。 点検後、吹抜部対策(手摺強度確認・防護ネット追加設置)を 優先実施。 AED(自動体外式除細動器)設置および社員訓練 実施 ・六本木ビルズほか7施設に計27台のAEDを配備。 ・社員と設置施設勤務協力会社社員へ訓練を実施。 延約620名が受講。	機械式駐車装置の安全性強化に関する情報共有 事故情報共有のための働きかけの実施 4月:メーカーへ、6月:メーカー団体へ、 7月:所管行政庁へ、11月:同業他社へ、 2006年9月: 国土交通省が業界団体へ通達を発信 2007年3月: 国土交通省が事故事例調査を開始 回転扉事故の教訓に基づく社員教育 ・動態保存されている事故機を視察 事故後人社社員と対象に6月14日、15日に実施。 計99人参加。	エレベータ関連対策室設置 ・4/4森タワー-ELV機械室の発煙事故を受け設置 (5/16～7/31) 事故情報の一元化、社内外の窓口 他社施設の安全対策視察 ・同業他社の新築物件視察及び、意見交換を実施 新丸ビル、東京ミッドタウン、ららぽーと豊洲、 ラゾーナ川崎の視察 その後、三菱地所・三井不動産と安全に関する意見交換 を実施 避難訓練の実施(2008.1.17) ・避難時の非常用ELV利用、一時避難階導入を東京消防庁と 検証。(消防町会、森ビル社員他、約800人が参加) 「緊急地震速報」導入の検討 ・気象庁より緊急地震速報の提供スタート。 弊社でも導入・活用を検討中(ELVの運動停止等)	回転扉動態保存視察 対象者に事故当時在席社員を追加し、より広く教育活動 を実施。 緊急地震速報活用 ELV運動 他社施設の安全対策視察 TOKYO STATION CITY 他社(メーカー)施設を視察 日立ビルシステム ソリューションラボ視察 ELV・ESCの安全対策について意見交換 新ゲートシステム 「超軽量多機能二重扉」共同開発	新ゲートシステム「超軽量多機能二重扉」 運用開始 ・上海環球金融中心 11/30～ ・六本木ビルズ森タワー 2/25～ 緊急地震速報活用 非常放送運動 安全チェック ・表参道ビルズ「キッズの森」オープンに伴う 全館安全チェック実施 ・六本木ビルズ外構 床石安全チェック エスカレーター 手すりにつかまろうキャンペーン ・六本木ビルズメトロハットにて注意喚起映像放映 (9/21～1ヶ月) 役員・管理職による震災直制度開始				

主な取組みについて

答申に対する取組み

その他の取組み